

アズキの病害虫情報第2報

防除所が、平成19年9月12日に府内10地点のアズキほ場を調査した結果、調査ほ場のアズキの生育状況は、開花期後半から若莢期になっています。

また、病害虫の発生状況としては特に目立つものはありませんでしたが、炭そ病とマメノメイガが過去10年の値と比較してやや多い発生状況でした(表1参照)。

一方、農業総合研究所内のアズキほ場では、昨年と比較してアズキノメイガ、マメノメイガとも多くなっています(表2参照)。

表1 9月第3半旬～第4半旬の巡回調査結果

調査日：平成19年9月12日

	うどんこ病	炭そ病	さび病	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモンヨトウ		
	発病株率	発病株率	発病株率	寄生株率	25小葉当	寄生株率	25小葉当	寄生株率	25株当	白変葉
	%	%	%	%	虫数	%	虫数	%	虫数	カ所/10a
19年	0.0	17.6	0.8	1.2	1.20	0.0	0.00	1.6	0.40	0.3
平年値等	0.7	8.7	11.9	4.6	10.85	0.7	2.50	3.5	1.56	0.8

	アズキノメイガ			サヤムシガ類				マメノメイガ	
	寄生株率	25株当	被害株率	寄生株率	25株当	被害株率	25株当	寄生株率	200花・莢当
	%	虫数	%	%	虫数	%	被害数	%	虫数
19年	0.8	0.20	1.2	0.4	0.10	1.2	0.30	30.0	4.7
平年値等	3.1	1.06	7.2	1.7	0.69	11.0	6.48	14.3	

表2 農業総合研究所内でのアズキノメイガ、マメノメイガの発生

調査年	調査日	アズキノメイガ		マメノメイガ	
		寄生株率	寄生虫数	寄生株率	寄生虫数
平成19年	8月27日	20.0	8	0.0	0
	9月3日	40.0	21	50.0	11
	9月11日	70.0	35	100.0	28
平成18年	9月1日	30.0	4	10.0	1
	9月8日	50.0	18	10.0	5
	9月15日	40.0	16	30.0	9

(5株×2反復調査)

環境部調べ

子実害虫類の防除については、平成19年8月29日発行の防除所ニュース第9号でも注意を呼びかけたところですが、幼虫孵化時期～食入開始時期の防除が重要で、開花始めから10日間隔で2～3回防除することが大切です。

従って、今の時期が子実害虫類防除の最終段階です。**再度、ほ場を観察し、発生が多いようであれば、防除を実施しましょう。**